

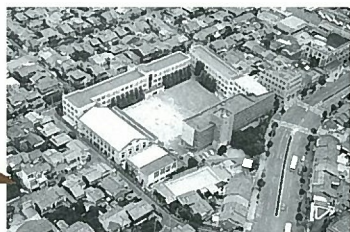
《広小路キャンパス》



立命館学園発祥の地
広小路キャンパス跡

広小路通り河原町西入ル北側、現在の京都府立医科大学敷地は、1901年(京都法政学校時代)以後、1981年まで立命館大学広小路キャンパスがあった場所です。立命館は1938年に衣笠キャンパスの用地を取得し、その後は1981年に全学部が衣笠キャンパスに移動するまで、2つのキャンパスで学生が学んでいました。現在、広小路キャンパス跡には日展参事で立命館大学校友の今井凌雪 筑波大学名誉教授の揮毫による「立命館学園発祥の地」記念碑が建てられています。

《立命館中学校・高等学校 北大路学舎》



立命館中学校・
高等学校
北大路学舎
(1980年)

立命館小学校が位置する烏丸北大路にはかつて立命館中学校・高等学校の学舎がありました。1905年に広小路に私立清和普通学校が創設され、1913年に立命館中学と改称、1922年にこの地へ移転し、1988年に深草学舎に移転するまで66年の歴史を刻みました。2014年、立命館中学校・高等学校は長岡京へ移転しました。



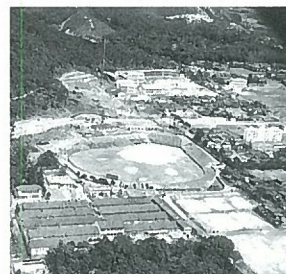
立命館小学校 2006年開設

《衣笠キャンパス》



「理工学部発祥の地」
の石碑

1938年立命館高等工科学校の設置に伴い、その校地として当地を取得したことを記した石碑が衣笠キャンパスにあります。1949年の理工学部(新制)設置から1994年に理工学部がBKCに拡充移転するまでの間、理工学部の学生が衣笠で学んでいました。



衣笠球場の
名残を残す
電信柱表札

衣笠キャンパスにはかつて「衣笠球場」があり、スポーツの殿堂として市民から大変親しまれていました。現在、球場の名残を示すものは、「衣笠球場」の表札が付けられた電信柱だけです。

1965年4月、経済学部と経営学部が広小路から衣笠キャンパスへ移転。
1978年4月、文学部と二部全学部が広小路から衣笠キャンパスへ移転。



衣笠一拠点完成時の衣笠キャンパス

1981年、法学部が広小路から衣笠キャンパスへ移転し、衣笠一拠点が完成しました。1994年に理工学部が、1998年に経済学部、経営学部が衣笠からBKCへ移転。2015年には経営学部がBKCからOICへ、政策科学部が衣笠からOICへ移転しました。2016年衣笠キャンパスには、法学部、産業社会学部、国際関係学部(1988年開設)、文学部、映像学部(2007年開設)の学生が学んでいます。かつて「衣笠球場」のあった場所は、1960年代末に中央グラウンドに、2001年には緑地化された中央広場になり、創思館(そうしかん 2001年竣工)、充光館(じゅうこうかん 2008年竣工)、体育館のあった場所には「平井嘉一郎記念図書館」(ひらいかいちろうさきねんとしょかん 2016年竣工)が建てられています。



平井嘉一郎記念図書館



2016年の衣笠キャンパス

写真パネル貸出のご案内

2011年6月に行われた「ホームカミングデー」にて、「懐かしの広小路・衣笠キャンパス展」として、懐かしい学園風景の写真パネル展を行いました。この時に使用した写真パネルの貸出を行っております。各地の校友会で展示いただくなど、ぜひご利用ください。(送料ならびに設置にかかる費用はご負担をお願いします。詳しくはご相談ください)



東京校友会総会会場での
展示の様子

パネルの一例

懐かしいあのころの出来事が満載!

「立命館 史資料センターホームページ」をご覧ください。

<http://www.ritsumeit.ac.jp/archives/>

『立命館百年史』 通史一〜三 発売中

立命館誕生の1900年から2006年まで、立命館百年間の軌跡が詳細に描かれたロングセラー。

通史第一巻	創始～1945年	4,762円(税抜)
通史第二巻	1945～1981年	4,762円(税抜)
通史第三巻	1981～2006年	6,667円(税抜)
資料編第一巻	創始～1945年	10,476円(税抜)
資料編第二巻	1945～1981年	10,476円(税抜)
資料編第三巻	1981～2006年	9,000円(税抜)



【取扱先】(株)クレオテック TEL075-463-9740
E-mail:creo-shop@creotech.co.jp

お問合せ先「立命館 史資料センター」

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1 TEL:075-465-8209